

研究課題「荷重位足関節背屈可動域の基準範囲および左右差の確立：スポーツ種目、性別、年代を考慮した検討」にご協力いただく方のご家族・保護者の方へ

<研究責任者>

所属・役職 理学療法学科・教授

氏名 江玉 瞳明

連絡先電話番号 025-257-4450 (研究室直通)

連絡先メールアドレス edama@nuhw.ac.jp

このたび、研究課題「荷重位足関節背屈可動域の基準範囲および左右差の確立：スポーツ種目、性別、年代を考慮した検討」を、新潟医療福祉大学倫理審査委員会の承認ならびに学長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究では、対象となる皆さまのプライバシー保護については最善を尽くします。研究へのご協力にあたっては、ご本人には書面で同意をいただきます。なお、本研究において未成年のお子様の情報を使用してほしくない方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

研究課題「荷重位足関節背屈可動域の基準範囲および左右差の確立：スポーツ種目、性別、年代を考慮した検討」にご協力いただいた、中学校等の過程を修了している未成年者、または16歳以上の未成年者であり、研究実施に関する十分な判断能力を有すると判断された方。

2 研究課題

承認番号 19732-251208 (新潟医療福祉大学)

研究課題名 「荷重位足関節背屈可動域の基準範囲および左右差の確立：スポーツ種目、性別、年代を考慮した検討」

3 研究実施機関

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部理学療法学科 教授 江玉瞳明 (研究責任者・データ収集)

リハビリテーション学部理学療法学科 講師 高林知也 (データ収集と解析)

<共同研究機関および研究責任者>

北海道大学 大学院保健科学研究院 助教 越野裕太 (データ収集と解析)

群馬大学 大学院保健学研究科 教授 小林匠 (データ収集)

森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部理学療法学科 教授 工藤慎太郎 (データ収集)

東京科学大学 スポーツ医歯学診療センター 理学療法技師長 廣幡健二 (データ収集)

県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科理学療法学コース 講師 岡村和典 (データ収集)

Jメディカルおゆみの 理学療法士 秋吉直樹 (データ収集)
副島整形外科病院リハビリテーション科 科長 溝田丈士 (データ収集)

<研究協力機関>
aruck lab 代表 斎田佳希 (データ収集)

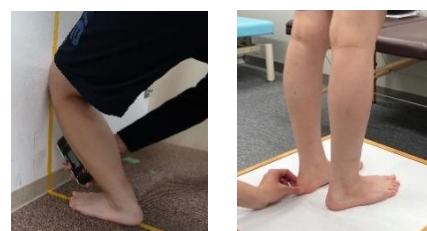
本研究で取り扱う情報の管理責任は、新潟医療福祉大学（学長 西澤正豊）です。

4 本研究の意義、目的、方法

足や足首を怪我すると、つま先を上に向ける動き、あるいは足を地面に付けたままでスネを前に倒す、足首の背屈という動きが硬くなることがあります。また、怪我をしていない健常な方でも足首の動きが硬い人が存在し、スポーツによる怪我の発生リスクを高めます。したがって、足首の十分な動きの確保が重要となります。未だにこの基準となる足関節の角度は明らかになっていません。また、どれくらいの左右差が正常範囲かも明らかではありません。さらに、この足首の角度には、スポーツ競技、性別、年代が影響する可能性があります。そこで、本研究では、体重をかけた状態での足首の曲がる角度の基準範囲と左右差を明らかにし、さらにスポーツ種目・性別・年代の影響を検討することを目的としています。

対象者は10歳以上の方とし、足首の硬さに大きく影響する足首周囲の骨折・手術・変形性関節症の既往歴、過去6か月以内の下肢筋骨格系損傷、脳血管障害、神経変性疾患、糖尿病を有する方は対象外となります。年齢、性別、身長、体重、利き脚、スポーツ種目情報、既往歴についてのアンケートに回答いただいた後に、以下の2つの項目を両足測定します。

- ① 荷重位での足関節背屈可動域：壁の前で測定する足を前にして立ちます。つま先と壁の距離を徐々に離していく、踵が浮かずにヒザを壁につけられる限界の位置で止めます。その時のつま先から壁までの距離、スネの前傾角度を測定します。
- ② Foot Posture Index-6 (FPI) Item という指標を用いて足部の形を測定します。両脚で立っている際の足部を前方、側方、後方から触知・観察し、点数化します。 背屈可動域測定 FPI 測定



5 協力をお願いする内容

測定した足関節背屈可動域、足部構造、スポーツ種目、性別、年代のデータについて、足関節背屈角度の基準範囲と左右差を明らかにし、さらにスポーツ種目・性別・年代の影響を検討する明らかにするために活用させていただきます。

6 本研究の実施期間

2025年倫理委員会承認後～2029年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う個人情報は、氏名です。その他の個人情報は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う皆さまのデータについて、個人情報をすべて削除し、ID 等で第三者にはどなたのものか一切わからぬ形で使用します（仮名加工情報を作成）。
- 3) 皆さまの個人情報と、匿名化した回答を結びつける対応表（連結情報）は、各研究機関の責任者が研究終了まで厳重に管理します。また、研究計画書に記載された所定の終了時点で紙資料や連結情報はシュレッダーにて完全に抹消し、破棄します（個人情報のない加工したデータのみ 10 年間保管します）。
- 4) 全データは、研究代表者の研究室のパスワードがかかる外部記憶媒体にのみ保存します。同意書や質問票などの紙資料および実験ノートは、研究室のカギのかかるロッカーに保存します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその関係者（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）により、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

＜連絡・問い合わせ先＞

対応者の氏名 江玉 瞳明

対応機関・所属 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科

連絡先（E-mail） edama@nuhw.ac.jp

以上